

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	きぼうクラブ		
○保護者評価実施期間	令和8年6月10日 ～ 令和8年6月24日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和8年7月1日 ～ 令和8年7月8日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年7月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こちら側の一方的な活動を押し付けることなく、本人の意思を尊重した活動を充実させています。	工作・お絵描き・学習等を目的として活動したい児童に対し、他児と極力隣接しないで、集中して出来る環境を設定して、取り組ませられている。また、今回はパソコンを3台導入し、活動の幅を広げられました。	更に充実を図る為、今回導入したパソコンの様に利用児童が興味・関心を示すようなツールを更に充実させていきます。
2	長年の実績ある保育士が中心になり、職員が子供目線で一緒に楽しむ事が出来ています。	個人の活動を大事にして、集中している利用児童もいれば、自分のやりたい事が見い出せない児童もいます、そういった児童にも職員が寄り添い手遊び・お遊戯と一緒に楽しく行っています。 また、帰りの会には紙芝居や絵本の読み聞かせを発語のトーン・スピード・音量等児童に分かりやすく行っています。	特定の職員しか出来ない事もあり、全職員が対応できるようにしていきます。
3	弊所同一法人の就労B型作業所ちえホームの野菜販売店から送られてくる果物をおやつの時間に提供を行っています。	・旬の素材の果物に特化して、利用児童に季節を感じられるように提供しています。 ・ビタミン不足が少しでも解消できるように心がけています。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	以前はきぼうクラブの強みであった公園遊びや散歩等外活動が減ってきています。	・小学生を中心に以前は早い時間に外活動を行っていましたが、その利用児童も中学生になっていき、通所時間が遅くなってきている事が要因の一つに挙げられます。 ・利用児童の障害の幅が広がり、全員連れて行く事が困難になり、連れて行く職員と残る職員の人員の確保が送迎で出ていく職員も出来なくなってきました。	・職員体制の見直しと利用児童の特性を考慮して、衝動的な行動に対策を立て、連れて行く際の児童に対して担当職員を決め、出発する際にも十分な安全に対する説明を児童に行い、事故対策を立てて行けるような改善を行っています。
2	送迎時に添乗の職員を付けられない時もあります。	職員の人数に対して、お迎えに行く学校（特別支援学校・支援学校）が、多く時間帯も被る事から場合によっては、添乗が必要な車両にも運転手のみになってしまうのが要因に挙げられます。	入所時に曜日の調整を行い、お迎えに対しての学校数と職員の人員調整を行います。
3	保護者との連絡が、連絡帳を行っての物が多く、ICT化が進んでいません。	人員不足により、送迎で出払って誰も職員が残らない状況もあり、通信機器を使って行える人員が確保できていない点と、旧態依然のやり方が浸透している事もあり、なかなか変換できない事も要因です。	帰りの際も確実に連絡事項を行える人員の確保とスマートフォン・タブレットを導入し、簡素化・効率化を目指し、取り組んでいきます。